

一般質問から

障がい者にやさしいまちづくりについて

公明クラブ 高橋 政行



問) 「身体障害者標識」いわゆる「四つ葉マーク」への対応と、障がい者優先駐車スペースのマナー遵守の啓発についてどのように考えているか。

答) 「四つ葉マーク」の表示は、義務ではなく、努力目標となっているが、思いやりや譲り合い運転の励行と、標識の表示について周知を図っていききたい。

また、障がい者優先駐車スペースは、自動車が障がいのある方にとって大切な交通手段であることから、広報などで、運転者のモラルについて周知を図っていききたい。

問) 老年寄りや車イスの人のために、歩道の傾斜の緩和、駐車車両等の排除と、コミュニティセンター玄関の手すり設置についてどのように考えているか。

答) 「バリアフリー社会」実現が求められていることから、段差の解消、平坦部の確保が可能な「セミフラット形式」の歩道整備に基準が改正され、今年からバリアフリーに配慮した歩道整備を実施している。迷惑車両については、警察において取り締まりを強化していただくなどで対応していききたい。コミュニティセンター玄関の手すりについては、利用実態など調査中であるが、さらに、利用しやすい施設を目指し、順次整備をしていききたい。

市民参加の手法(総計)場所(センター)について

民主市民ネット 谷村 尚祐



問) 市民の公共意識の涵養も含め、多くの市民が総合計画策定に携わり、まちづくりのプレーヤーとしての自覚をもって頂く情勢作りが必要と考えるがいかがか。

答) 審議会の委員を市民の中から無作為抽出で選び、計画を作っている町がある。最初は上手く行かなかったが、トレーニングを重ね現在はスムーズに計画が作られていると聞く。これは理想の姿で、我々の自治の意識はまだまだ未成熟であり、一挙に理想の姿に持っていくことは難しいのも事実。計画策定を通じ、市民によるワーキンググループなどを設置する中で対応したい。

問) 市民活動センターが一福祉活動センターに過ぎないという声がある。教育、まちづくり等、多様な活動の要請に応える為、センターの今後をどう考えているのか。

答) センターが活動の拠点として、大きな役割を果たしている一方、今後、市民活動の形が、例えば計画の策定といった政策レベルの検討や事業の企画といった「協働のまちづくり」という視点も益々重要になると考える。そのための拠点の施設というものも、今後、別に考える必要が出てくると考えている。

食財の日の設定・体験学習型観光の推進

民主市民ネット 佐藤 伸弥



問) スローフード運動推進、子供たちの健全育成のために、「食財の日」を設定し、家庭、職場、学校、地域を問わず、全ての場所でスローフード運動を取組む必要があると考えるが、市長の見解を。

答) 平成19年度に、「食育基本法」に基づく当市の「食育推進計画」を策定する方向であり、推進計画の策定作業の中で検討をしていく。

問) 都市部では、食育の授業の一環として修学旅行の際に、農業等の体験学習型観光をする学校が増えており、新たな観光振興策、また農業振興策の一つとして、受け入れ体制を整備し、積極的に推進していくべきと考えるが、市長の見解を。

答) 現在、当市の体験学習型観光については、まだまだ不十分であり、多くのニーズに対応しきれていない状況である。農業者の生活や食糧の生産現場を体験させて、食の安心と安全や、網走の農作物への理解を深めてもらうためにも、受け入れ体制の拡充に努めたい。また、「観光客の農業・酪農体験」「ファームインでの食育体験学習」を柱にしたNPO法人などとも連携をしていききたい。

市民サービスと教育現場の課題について

公明クラブ 佐々木 玲子



問) 市民サービスでは、予約制による休日の住民票等の発行を今月から実施されることになり、平日来庁出来ない市民の方に大変喜ばれている。そこで、市民サービスの一環である相談業務も土日に実施が出来ないものか。

答) 各種相談業務の相談員はボランティアでお願いしている方もいるため、休日の相談を引き受けていただけるかなど難しい問題があり、また、現在のところ各相談窓口には、夜間・休日実施の要望はお聞きしていない状況にもあり、今後の検討課題としていきたい。

問) 児童虐待の根本的な解決方法として、親に対し助言や知識を提供する場として『親業教育』を取り入れては。

答) 児童虐待の発生予防には幅広い取り組みが必要と考えており、親業教育の実施について、教育部と連携を図りながら検討していききたい。

問) いじめ問題は、「いじめ」をする子へのサポート対策を考えることが根本的解決になると思うが、対策は。

答) 子どもと教師、子ども同士の信頼関係を築くために、しっかりしたコミュニケーションを取り、「いじめ」の不当性について根気よく指導を行い、学校全体として「いじめ」を許さないという体制づくりを強化していききたい。

十一月、十二月に開催されました第一回臨時会及び第百四回定例会会議録については、二月下旬に完成する予定です。(ホームページでもご覧いただけます。)